

■5月18日

中部国際空港会社、2013年3月期連結決算、増収増益、3期連続の黒字

中部国際空港会社は16日、2013年3月期連結決算を発表した。これによると、売上高は427億1,200万円(前期比2.1%増)、営業利益が40億5,100万円(同9.9%増)、経常利益は前年の3倍近い20億4,500万円(同187.2%増)、当期純利益14億3,000万円(同139.3%増)を計上した。増収増益、3期連続の黒字を達成した。

空港利用実績では発着回数が1.4%増加の約3.0万回、航空旅客数合計は921万人で前年比3.6%増加した。国際旅客は2.6%増の449万人、国内線は4.5%増の472万人だった。下期には、尖閣諸島問題や竹島問題が発生、中国線では9.6万人減少、韓国線で6.1万人の減少影響があったが、他方面の振り替え需要もあったと分析している。

また2013年度需要見込みについて、国際線旅客数480万人、国内線旅客数520万人、合計1,000万人とすることを発表した。貨物は13万トンを予測した。

(日刊航空)5/17

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

(中部国際空港株)5/16

<http://www.centrair.jp/corporate/ir/pdf/2013kessan.pdf> (-> <http://www.centrair.jp/corporate/ir/pdf/2013kessan.pdf>)

チェジュ航空、仁川—新千歳チャーター便、6-8月、週1便

チェジュ航空は16日、仁川—新千歳間のチャーター便を6月20日から運航する計画を明らかにした。週1往復で8月下旬までの予定。

チャーター便は、ボーイング737—800型(189席)を使用。木曜日に仁川を出発し、日曜日に折り返し便が新千歳を出発する。3泊4日の道内旅行として、韓国人向けに販売する。

(北海道新聞)5/17

<http://www.hokkaido-np.co.jp/news/economic/466441.html> (-> <http://www.hokkaido-np.co.jp/news/economic/466441.html>)

高松空港、12年度利用者、前年度比7.6%増、羽田線が好調

県は、12年度の高松空港の利用実績を発表した。それによると、羽田線は東日本大震災の影響が薄れたことなどから好調で、ソウル線や上海線など国際線も合わせた利用者数は141万5820人と前年度比で10万115人(7.6%)増だった。一方、日韓や日中の関係が悪化した昨秋以降、両路線の利用率は低下した。毎日新聞が報じた。

国内線では、羽田線が前年度比8.5%増の123万663人。一方、那覇線の利用者数は、昨年10月に松山空港で那覇線が就航した影響で前年度比6.7%減の11万7461人だった。

国際線では、日韓関係の悪化に加え、円安で日本人観光客の減少も招き、ソウル線の利用者は前年度比11.9%減の2万8813人で、利用率も56%(同15.8ポイント減)と1992年の就航以来最も低くなった。

上海線は日中関係の悪化に伴って団体ツアー客が激減するなどしたため、利用率は66.7%(同18.1ポイント減)となったが、昨年3月に週1往復から週3往復へ増便したため、利用者数は64.6%増の3万7685人と伸びた。また、今年3月に就航した台北線は利用者数1198人、利用率は94.8%だった。

(毎日新聞)5/17

<http://mainichi.jp/area/kagawa/news/20130517ddlk37020600000c.html> (->

<http://mainichi.jp/area/kagawa/news/20130517ddlk37020600000c.html>)

PEACH(LCC)、手荷物料金をゾーン制に改定、ファストシート料金を設定、付帯料金を拡充

ピーチ・アビエーションは17日、各種料金の改定をおこなうと発表した。

受託手荷物の料金を飛行距離に応じたゾーン別の区分を新たに導入し、受託手荷物料金5個までを同一料金に変更する。一方、スポーツ用品の預入料金は最大66%引き下げる。従来の4200円から、距離に応じて1400~3650円とした。また、1列目の座席指定「ファストシート」料金を新設。22日以降に航空券を購入した乗客から適用する。

ゾーン(路線)は以下の4つに区分され、1個の受託運賃はゾーンごとに1000円~2600円に設定された。(現行 ネット

支払で国内線1050円・国際線1600円)

Zone 1: 大阪(関西)＝仙台／福岡／長崎／鹿児島、沖縄(那覇)＝石垣(新石垣) 1,000円

Zone 2: 大阪(関西)＝札幌(新千歳)／沖縄(那覇)／石垣(新石垣) 1,600円

Zone 3: 大阪(関西)＝ソウル(仁川)／釜山 2,000円

Zone 4: 大阪(関西)＝台北(桃園)／香港 2,600円

座席指定料金に1列目の座席指定をファストシートとして国内線1,260円、国際線2000円と別料金の設定を行った。

同社は、利用者にとって公平な料金体系とすることを目指すための改定であるとしているが、ファストシート料金の設定は付帯料金の拡大であり、手荷物料金の改定はゾーン1の国内線短距離路線だけが値下げとなっており、実質、付帯料金の拡充を行ったと思われる。

(PEACHプレスリリース)5/17

<http://www.flypeach.com/Portals/1/PressReleases/2013/130517-Press-Release-J1.pdf> (->

<http://www.flypeach.com/Portals/1/PressReleases/2013/130517-Press-Release-J1.pdf>)

全日空、沖縄貨物事業拡充、貨物事業会社新設-2014年

全日空は17日、7月以降、沖縄ハブの新規路線開設を含めフレイターネットワークを拡充すると発表した。

これまで全日空の保有する貨物専用機で運航していた成田－沖縄線を、日本貨物航空の機材でチャーター運航することにより、全日空の貨物専用機(B767-300F)による成田－中部－沖縄、沖縄－青島、成田－広州の新設、関西－台北の再開を実現する。

2013年度末には、10機目となるB767-300F貨物専用機を受領し、事業の拡大、ネットワーク強化と付加価値戦略の更なる推進、徹底的な品質向上の実現を目指す。

また、2014年4月には、事業拡大を支える貨物事業会社を設立し、マーケットニーズに柔軟に対応する体制を構築することで、収益基盤の強化・改革を推し進め、貨物事業の大胆な深化を目指すとしている。

一方、沖縄貨物ハブ以外のフレイターネットワークにおいては、8月28日より成田＝広州線(週3便)を開設し、関西＝台北(週2便)の再開も併せて発表した。

(Lnews)5/17

<http://lnews.jp/2013/05/f051701.html> (-> <http://lnews.jp/2013/05/f051701.html>)

(ANAプレスリリース)5/17

http://www.ana.co.jp/pr/13_0406/13-031.htm (-> http://www.ana.co.jp/pr/13_0406/13-031.htm)

成田空港、LCC専用ターミナル、111億8250万円で大成建設が受注

成田空港が2015年3月末までの完成を目指し整備を進めている格安航空会社(LCC)向け専用ターミナルの本体工事を、大成建設が111億8250万円で受注したことが17日、明らかになった。成田国際空港会社が当初、付帯設備も含めて見積もっていた総事業費約200億円を大きく下回った。

施設使用料を負担するLCCが当初の総事業費約200億円は「過大だ」と批判していることに配慮して、本体工事の入札上限価格を約118億5874万円が設定された。

(WSJ)5/18

<http://jp.wsj.com/article/JJ12720785675197863392517419592501881547441.html> (->

<http://jp.wsj.com/article/JJ12720785675197863392517419592501881547441.html>)

仁川空港出入国管理事務所、1-4月、入国外国人は中国がトップ

(朝鮮日報によると)

法務部(省に相当)の仁川空港出入国管理事務所によると、今年1-4月に仁川空港から入国した中国人は59万8460

人で過去最高だった。前年同期(43万7993人)に比べると37%増で、同じ期間に中国を訪れた韓国人の数を初めて上回った。

また、同じ期間に仁川空港から入国した外国人215万7015人のうち、中国人は28%で、日本人(22%)を上回った。中国人観光客が韓流ブームで増加したのに対し、日本人観光客は円安、韓日関係悪化などで、前年同期比25%減の47万8201人に落ち込んだ。同事務所は「このまま推移すれば、通年でも中国人観光客が日本人観光客を抜くのではないかと予想した。

(朝鮮日報)5/17

http://www.chosunonline.com/site/data/html_dir/2013/05/17/2013051700475.html (->

http://www.chosunonline.com/site/data/html_dir/2013/05/17/2013051700475.html)

中国民間空港、2012年運営状況、134空港が赤字

(China Pressによると)

2013年5月7日、中国民用航空局の李家祥局長が、中国民間空港2012年の運営状況について説明を行った。説明によると2012年、中国民間空港183カ所の内、134カ所が赤字となり、赤字総額は29億元(約484億5200万円)に達したとのこと。

なお、中国民間空港2011年の赤字総額は16億8000万元であった。

(China Press)5/17

<http://www.chinapress.jp/pd/36448/> (-> <http://www.chinapress.jp/pd/36448/>)

セブ・パシフィック(LCC)、マニラーブーケット路線開設、タイ2路線目

セブ・パシフィック航空は17日、8月16日からマニラとタイ南部のブーケット島を結ぶ路線で運航を開始すると発表した。同国への乗り入れはバンコクに続き2路線目となる。

使用機材エアバスA320で、月、水、金曜日の週3便を運航。

一方、フィリピン航空は、搭乗手続き時間(出発時間45分前を過ぎた場合)に遅れた国内線の利用者に対し、15日から1,500ペソを追加で課金していることを明らかにした。17日付スターなどが伝えた。

(NNA ASIA)5/18

<http://news.nna.jp/free/news/20130520php001A.html> (-> <http://news.nna.jp/free/news/20130520php001A.html>)